

## 29-6 教育研究評議会議事概要

日時 平成29年9月20日(水) 13:30~15:40  
場所 事務局棟2階会議室  
出席者 駒田学長  
山本, 鶴岡, 尾西, 加納, 尾藤, 富樫, 野崎, 西村, 堀, 吉本, 新保, 安食,  
樹神, 鶴原, 山口, 片山, 緒方, 清水, 伊藤(智), 梅川, 神原, 三宅, 井口  
欠席者 橋本, 松田, 伊藤(正)  
陪席者 服部監事, 山中監事

◎ 議事に先立ち、学長から全学委員会等の資料についてのペーパーレス化を今年度中に実施したい旨の発言があった。

◎ 前回議事概要の確認

学長から事前に照会した29-5教育研究評議会議事概要(案)について、資料のとおり記録に留めたい旨の報告があり、了承された。

### I 審議事項

#### 1. 教育コンソーシアムみえが行うアンケートの再協力依頼について

山本理事から、「資料：審-1」に基づき、先般実施された高等教育コンソーシアムみえが行うアンケートについて、実施した全14高等機関の合計回収率が48.4%という結果であり、70%を目指していたこともあり、回収率の低かった機関について三重県とコンソーシアム地域貢献部会より再調査を要請された旨の説明があり、本学においても前回と同様の方法(学生の主体的な判断によるもので事務部が主となり実施)により10/2(月)~10/13(金)の間に再調査を実施したい旨の説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

#### 2. 人事労務に関する規程等の改正について

企画総務部長から、「資料：審-2」に基づき、「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律」の平成29年10月1日改正に伴う「国立大学法人三重大学職員の育児休業等に関する規程」、「国立大学法人三重大学ハラスメントの防止及び対策に関するガイドライン」の一部改正及び、三重県最低賃金の改正等に伴う「国立大学法人三重大学非常勤職員の給与に関する規程」、「国立大学法人三重大学再雇用職員就業規則」の一部を改正する旨の説明があり、次いで平成30年1月1日以降採用となる国際環境教育研究センター助教への任期制適用に伴う「国立大学法人三重大学における大学教員の任期に関する規程」の一部改正についての説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

また、現在、過半数代表者からの意見聴取をしており、その後、役員会において審議する旨の付言があった。

#### 3. 個人情報保護関連規程の改正及び新規制定について

企画総務部長から、「資料：審-3、参考資料1・2」に基づき、改正個人情報保護法及び、独立行政法人等個人情報保護法の平成29年5月30日施行及び、番号法の一部改正に伴い、「国立大学法人三重大学個人情報保護規程」、「国立大学法人三重大学特定個人情報等取扱細則」、「三重大学情報公開・個人情報審査委員会規程」の一部を改正するとともに「三重大学における独立行政法人等非識別加工情報の提供に関する取扱規程」を新設することについての説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

なお、適用については平成29年5月30日の遡及適用とする旨の付言があった。

#### 4. 大学教員の懲戒処分について〔報告事項終了後、関係者のみにて審議〕

尾藤理事から、平成29年7月19日(水)開催の教育研究評議会において設置された審査委員会における審査結果等について、配付資料に基づき報告され、種々意見交換の後、学長から本件に係る懲戒処分について照会があり、審査委員会における審査結果のとおりとすることが承認された。引き続き、企画総務部長から、本件に関する今後のスケジュールについて説明があった。なお、本日の席上配付資料については、本会議終了後に回収した。

#### 5. その他 なし

### II 役員会報告

#### 1. 第10～13回役員会について

学長から、平成29年度第10～13回役員会について「資料：役-1、参考資料1～4」に基づき、報告があった。

### III その他報告事項

#### 1. 平成30年度概算要求事項について

文部科学省から財務省への平成30年度概算要求事項について、施設部長から、施設整備費概算要求関連として「資料：報-1-1」に基づき、施設整備費のうち、本学の要求3事業についての説明があり、次いで財務部長から、運営費交付金関連として「資料：報-1-1、1-2」に基づき、平成30年度概算要求計数確認時のポイントとして、機能強化促進係数(△1.2%)による影響額の他12項目についての説明のほか、運営費交付金とは異なる国立大学改革推進補助金の予算要求がされている旨の説明があり、本学に対して今後の予算折衝に向けたアイデア出しについて連絡がきている旨の報告があった。

#### 2. 情報セキュリティ対応能力の向上について

加納理事から、「資料：報-2-1」に基づき、情報セキュリティ対応能力の向上についての各対応策等についての説明のほか、「資料：報-2-2」に基づき各対応策の位置づけについての説明があった。

#### 3. 情報インフラ整備中期計画について

加納理事から、「資料：報-3-1」に基づき、情報インフラ整備の中期計画(案)について各整備事項及び重要度についての説明のほか、「資料：報-3-2」に基づき、各整備事項の位置づけについての説明があった。

#### 4. 三重大学におけるインターンシップの取組強化について(中間報告)

野崎副学長から、「資料：報-4」に基づき、三重大学におけるインターンシップの取組強化についての中間報告として、三重大学機能強化構想とインターンシップの位置づけの確認、三重大学におけるインターンシップ定義の確認、多様なインターンシップの具体的な検討についての報告のほか、今後の活動、取り組みについての報告があった。

また、学内のコンセンサスをしっかりと得て教育にインターンシップを充実させる取り組みとしていきたいので各部局等の協力を願う旨の依頼があった。

### ◇主な意見

○医学部の臨床実習はインターンシップそのものであると考えるがここには含まれるのか

→医学部の臨床実習については会合においてインターンシップに含むものとして確認されており、教育学部についても、教育実習、福祉施設へ行くこと、NPOのボランティア等へ参加についても教師になるために必要とされるものについて幅広く検討していくことで確認

されている。

5. 三重大学卓越型リサーチセンター（第二期分）の採択及び三重大学リサーチセンターの認定について  
鶴岡理事から、「資料：報－5」に基づき、三重大学卓越型リサーチセンター（第二期分）3件の採択及び、三重大学リサーチセンター3件の認定についての報告があった。
6. 動物実験における小型魚類実験の審査検討WG（仮称）の委員の選出について（依頼）  
鶴岡理事から、「資料：報－6」に基づき、動物実験における小型魚類実験の審査検討WG（仮称）の委員の選出に至った経緯説明の後、各部局への委員選出についての依頼があった。
7. 三重地域留学生交流推進会議の報告について  
堀副学長から「資料：報－7」により、三重県内の留学生の受け入れを行っている高等教育機関の関係者による平成29年度三重地域留学生交流推進会議が開催され、三重県内の留学生を対象にした就職説明会の合同実施について及び、三重県内の留学生の地域内、或いは国内就職のデータベースの構築を行うため、三重大学に本部を置き情報収集することについて確認された旨の報告があった。
8. 第69回日米学生会議 in 三重「ものづくりパネルディスカッション」実施について  
堀副学長から、「資料：報－8」により、平成29年8月17日（木）～8月21日（月）の5日間、第69回日米学生会議 in 三重の行事が開催され、本学では8月20日（日）にメープル館にて「ものづくりパネルディスカッション」を開催し、本学の学生13名が参加したほか、県内の高校生約30名の参加があった旨の報告があった。
9. 第24回3大学ジョイントセミナー&シンポジウム2017の開催案内について  
堀副学長から、「資料：報－9」により、第24回3大学ジョイントセミナー&シンポジウム2017（学生のための国際会議 Tri-U 2017）を平成29年10月23日（月）～10月27日（金）に本学の主催により開催し、今回は全学部の学生を対象に研究成果の発表をする場を提供するほか、地域拠点サテライトにおいてフィールドスタディを実施する計画をしている旨の報告があった。
10. 地域人材育成推進会議の開催について  
山本理事から、「資料：報－10」に基づき、「目指すべき人材像」、「インターンシップ」をテーマとした地域人材育成推進会議を平成29年9月28日（木）に開催する旨の報告があった。
11. 三重大学高大接続シンポジウムの開催について  
山本理事から、「資料：報－11」により、三重大学高大接続シンポジウムを平成29年10月3日（火）14：00～地域イノベーション研究開発拠点C棟地域イノベーションホールにおいて開催する旨の報告があった。
12. 「高等教育コンソーシアムみえ」の事業に係る学内審議等の進め方について  
山本理事から、「高等教育コンソーシアムみえ」の事業に係る学内審議等の進め方について、高等教育コンソーシアムみえが進めている事業、活動について個々の大学に判断を仰ぐ内容もあれば、情報提供、意見聴取等様々な事象が生じ、三重大学としての対応が求められているところでもあることより、対応について検討する組織について、執行部で検討を行ったところ、新しい組織となるとメンバーの構成、組織の位置づけ等、様々な検討課題が生じることより、既存の組織を上手く活用しながら内容に対応していくことでいいのではないかとした。  
そこで「報告事項や参考意見を求める程度の軽微な内容については、地域人材教育開発機構

地域創発部門会議で対応する。』、「三重大学としての判断や姿勢、意思決定が求められる内容については、教育会議、教育研究評議会で審議し、決定する。」とした内容により対応する組織を分けることを基本的に考えていることを教育会議で提案したところ様々な指摘を受けたことに伴い、それらの指摘を踏まえた上で、内容を再度検討し、教育会議も含め、来月の教育研究評議会であらためて審議を仰ぐこととする旨の説明があった。

#### ◇主な意見

○平成29年9月29日に地域人材教育開発機構地域創発部門会議（以下「地域創発部門会議」）が開催されるが、アンケート以外のリーフレット、動画に関する啓発コンテンツについて意見聴取してもよいか。

→方向性がしっかりと決定はしてはいないが、既にアンケートに関連して、リーフレット、動画作成をコンソーシアムにおいて進めているところであり、内容構成について各大学の意見を聞きたいということで、大学へ要請がきている。

これについては意見をまとめるということなので、本日、はっきり決定はしていないが、地域創発部門会議で、（時期的な問題もあることより）進めていくことについて了承を含めて理解いただきたい。

→地域創発部門会議において意見をいただき、平成29年10月3日にコンソーシアム地域貢献部会が開催されるので、聴取した意見をコンソーシアム地域貢献部会へ意見を返し、その内容を検討いただくこととなっている。

○全学の男女共同参画のようなどころからの意見を聞く必要はないか。

→教育会議においても結婚の在り方、男女の問題等を含めると男女共同参画のような視点からの意見も踏まえながら進める必要があるとの意見もあるので、コンソーシアム地域貢献部会へ三重大学からの意見として返すものであり、学内にもそういった委員会等があるので意見を聴取し、地域創発部門会議へ意見を返していくことを考えている。

○この件については、教育会議においてもかなり議論をしたが、啓発コンテンツの内容に結論を出すということであれば、否決されていたと思われる。大半が内容的に大学として取り組むべき内容ではないとの意見であった。

そもそも大学とコンソーシアムは切り分けて考えるべきであり、啓発コンテンツの作成はあくまでもコンソーシアムの事業であり、大学としては、地域創発部門会議が受け皿になって意見を言うこととするが、必要に応じて教育会議、教育研究評議会からの意見を聞く、ただし、できあがった啓発コンテンツを三重大学でどう使うかは教育会議、教育研究評議会の審議によるものであり、コンソーシアムの意向に沿わない場合もあり得るということによいか。

→意見の通りで確認した。

#### 13. その他

(1) みえリーディング産業展の開催について（席上配布資料）

鶴岡理事から、席上配布資料により、みえリーディング産業展が平成29年10月27日（金）・28日（土）に四日市ドームにて今年度を最後に開催される旨の報告があった。

(2) 安否確認システムについて

新保副学長から、安否確認システムの平成29年10月1日からの運用に向けての準備状況の報告及び、学生、教職員の登録についての周知依頼があった。

以上